

エボラ出血熱対策に関する WHO ミッションへの日本人専門家参加の概要

参加する専門家：1名

参加予定期間：平成27年2月上旬出国－4月上旬帰国

訪問予定先：リベリア 1名（検査体制の管理）

目的：エボラ出血熱対策に関するWHO ミッションに専門家として参加し、現地の検査室に赴き疾病発生及び対策状況等について調査及び評価を実施するとともに、必要に応じ助言を提供する。

日本におけるWHO ミッションへの日本人専門家派遣の実績：

平成12年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、3回にわたり計5人（延べ6人）の専門家が派遣されています。

平成24年にウガンダにおいてエボラ出血熱の流行が発生した際、WHO の要請を受けて、1名の専門家が派遣されています。

平成26年5月、8月、11月にリベリアに、7月、10月、11月、12月、平成27年1月にシエラレオネに、WHO の要請を受けて、エボラ出血熱対策の専門家として、11名（延べ13名）の専門家が派遣されています。

参考（厚生労働省検疫所ホームページ）：

・エボラ出血熱

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name48.html>